

大槌子どもセンター の落成



4月22日に岩手県大槌町で子どもセンターの落成式を行いました。
大槌町の副町長、教育委員長はじめ地元の多くの方の参加を得たほか、
地元の子どもたちが鹿子踊りと七福神を披露してくれました。
大槌町、住民の皆さま、そして全国からご支援くださっている
皆さまに心から感謝を申し上げます。



内の催事場にて約3週間大きな返却展を実施しました。今回は買物客の集まりやすい場所での開催に加えて、開催時間を19時まで延長をしたことで連日大変な盛況となりました。5千名を超える来場があり多くの方に思い出の品をお持ち帰りいただくことが出来ました。昨年5月に行った最初の展示会から延べ4千名近い町民に対して、それぞれ写真1枚から十数冊のアルバムなどを返却してきたこととなります。

しかし、まだ持ち主へお返しできていない残された写真やアルバムには寿命があり、細菌や腐食によって状態を恒久的に保持していく事に限りがあることを、大槌町長にも直接お伝えし、5月下旬に最後の写真返却展を実施しお預かりしてきた写真やアルバムなど全てを大槌町役場へ返却することが決まりました。

前号でもお伝えした複写を行った写真のデータベースに関しては、子どもセンター落成式の際に大槌町へ寄贈をしています。そして、当会で構築したデータベースを運用しての写真検索システムは、今後大槌町内の数か所に設置し、町民が自由に写真を探して貰えるよう町と折衝中です。

4月末、大槌町は桜が満開になりました。花を愛でる、新緑を楽しむ、潮の香りを感じる、そんな気持ちのゆとりを一人でも多くの町民が取り戻すことが出来るよう共に歩んで行きたいと思っています。

* 子どもたちの居場所として *

大槌町での子どもセンター建設工事は悪天候で少々のは遅れは生じたものの、3月中旬無事に終わりました。その間、2月には昔ながらの方法で上棟式を行い屋根の上から餅まきをしました。こうした行事は町内でも最近では珍しく、小学校2年生のクラスが郷土文化の勉強として見学に訪れ、皆で一生懸命餅を拾いました。

3月下旬の春休みより子どもセンターはプレオープンし、それまで「放課後子どもひろば」を毎日開催していた仮設住宅内の集会所から引っ越しをしました。春休み期間中はアートワークショップ、お菓子の家作り、親子バーベキューなど、お披露目かねたプログラムを実施しました。

施設は仮設小中学校の目の前と大変好立地である為、連日30名以上の子ども達が遊びに来ています。とても嬉しいことに子ども達の間で口コ

ミが広まり、新しい顔を毎日見ることが出来ています。

4月下旬には大槌副町長や教育長出席の上で落成式を行いました。地元郷土芸能の鹿子踊りや子ども七福神の賑やかな踊りの中、正式に建物の大槌町への寄贈を行いました。当日は県外からも多数の方がお祝いに駆けつけて下さいました。

町との協議、小学校との連携、地元NPO「ぐるっと大槌」への移管など課題はまだ多くありますが、これまでのところ、子ども達の反応や保護者との会話からは「楽しい、ありがとう」の声ばかりで、この建物が「子どもの居場所」として大槌町に定着することと希望を感じています。

* 写真事業 *

大槌町内で流された写真の清掃・整理・返却事業も終盤に入っています。3月には震災1周年を挟みながら、年末に再建された地元商業施設